

三中だより

令和5年1月13日(金)

大田区立大森第三中学校

校長 笛木 啓介

令和4年度第11号

大田区中央4-12-8

新年あけましておめでとうございます。令和5年もスタートして1週間、本格的に教育活動が動き出しました。地域や保護者のみなさまもそれぞれに新しい一年を迎えられましたことに、心よりお慶び申し上げます。今年も、大森第三中学校の教育活動にご理解・ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本年の干支はウサギです。「今年の干支は」と普段から会話にもでてきますが、この干支というのは、「十二支(動物 12 種類)」と「十干(じっかん)」の組み合わせで干支になっているそうです。十干は、甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸で、日付や時間、方位などを表すものとして使われていたということです。ちなみに、10干と12支の組み合わせなので、120種類あると感じますが、どちらも2の倍数なので、組み合わせていくと、干支の組み合わせはその半分しかないのです。「甲卯」がありえないのはそうした理由です。そこで、干支は全60種類となり、この60種類が一周することから、60歳を還暦というそうです。方角などは、60の倍数で一周360度ですから、角度とうまくあてはまっています。例えば子午線(南北を結ぶ地球の線)は、東西南北を、卯酉午子に割り振ったものを由来としています。もとは、中国の紀元前の殷の国から興ったことと言われ、日本には古墳時代から飛鳥時代にかけて伝わったそうです。そんな昔のことが今に伝承されていると考えると、なかなか感慨深いものがあります。

今年の干支は、「癸(みずのと)卯(う)」です。この漢字のもつ意味から、今年はどんな年なのかと、話題になるようです。「癸」は春も間近で開花まであと少しというところ、そして「卯」は冬から春にむけて飛び出すという連想がされているようです。ということで、これまでの努力の積み重ねが実り、成果が表れてくる年回りだといわれています。ウサギだけに、ぴょんぴょん飛び出すというところでしょうか。あっちこっちで、ウサギが跳ね回っているのはなかなか活気ある図です。しかし、ウサギは本来警戒心の強い動物です。あの長い耳で、警戒心をもって情報を察知して行動しています。それは、自分たちもこの情報過多の時代に取り捨選択できる能力をもち、自分の価値観を磨き、情報を吟味する力をもつことが必要だと、ウサギに教えられているように思います。情報を取捨選択するためには、その価値を判断できる力をもつことが必要です。そのためには違う立場に立って物事を見る力を養い、自他の価値観を認め合うことが大切なのです。こうした力は、社会で共に生きていく上でとても大切な力です。学校はそうした力を育む場なのです。

いよいよ、三学期です。年の初めとともに、年度という一年間のまとめの時期が始まります。生徒一人ひとりが、これまでの取り組みをもとに大きな成果を得て、それを自己の将来につなげていけるよう、生徒たちに寄り添い、自己実現を図れるよう教育活動を通じて支援してまいりたいと考えております。

スクールカウンセラー出勤予定日

藤田 啓子	1/17(火)、1/24(火)
鳥海 真里	1/11(水)、1/18(水)、1/25(水)
田中 典子	1/13(金)、1/20(金)、1/27(金)

※大森三中 相談室直通電話
(3773) 7831

1月の行事予定

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日
				夜間中学ゲストティーチャー(1)	都推薦入試	職員会議			私立高校推薦入試(始)	土曜補習	英語検定	交通安全教室(2)	小中一貫教育の日				ものづくりフォーラム	避難訓練・福祉体験(1)	中央委員会	専門委員会	始業式・安全指・職員会議	成人の日		冬季休業日終				まで学校閉鎖期間です。	12月29日から1月3日	元旦

2年生の職場体験のまとめ

2年生は、10月に3日間の職場体験を行い、12月にはお世話になった事業所の方にもお越しいただき、職場体験報告会を実施しました。この体験を通して2年生は大きく成長しました。今回、事後学習の取組として、2年生の感想を紹介します。

2年

職場体験中は、いつも体験できないことをさせていただきました。例えば接客などでお客様から注文をとったりととてもいい体験になり、よかったです。また、料理はできないと思っていたが、3日目にピザを自分でつくらせていただき、しかもトッピングは自分の好きなものでいいといわれ、とても楽しくおいしい、印象に残る時間でした。発表の時は、自分たちがその職場で学んだ、働くということがしっかり説明できてよかったです。この体験と発表で働くということがこわいものという印象から仲間とがんばることでも楽しいものであることがわかりました。

2年

職場体験についてふり返って、体験中自分のこれからのためや他の職場を体験した人にも伝えられるように考えて行動することができたと思う。職場体験当日では、なれない場所になれない仕事だったけれど、班員や指導してくださった職場の方に支えてもらったところが多く、「仕事」だけでなく、学校だけでは学べない人間関係を築く大切さを感じることができた。発表では、そうした体験を共有できるように分かりやすく伝えることを心掛けて発表することができたと思う。実際に、聞き手から「スライドがわかりやすかった」「詳しく説明していて良かった」という声があって、伝えたいことが伝わっていたと思う。

2年

働くことはただ辛いものだとずっと思っていたけど、今回の職場体験で働くことで得られるものを知った。仕事はめんどくさいものだと思っていたから、楽しそうに仕事をしている店員さん達を見て、少し仕事への思いが変わった。これからは生きていく中で「働く」ことは必要不可欠だから、職場体験ができてよかったです。

職場体験の事前と事後に2年生にアンケートを実施しましたので、その一部についても紹介します。

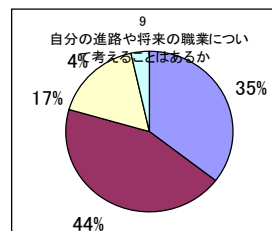
質問「(事前) 自分の進路や将来の職業について考えることはありますか。

(事後) 職業調べ学習を終えて、自分の進路や将来の職業について考えましたか。」

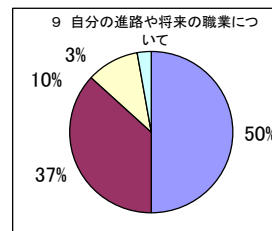
「よく考える」の事前の回答が35%で、事後が50%、「考える」と合わせると事前の回答は79%で、事後は合わせて87%と上昇しています。これは、職場体験前から多くの2年生が、進路について漠然と考えていることがわかります。そして、事後には、より考えるようになったと回答する生徒が多くなり、職場体験活動が具体的に自分の進路を考えるきっかけとなっていることが読み取れます。

また、別の質問では、これからの学校生活を頑張ると回答したのが、事前から事後へ大幅に増加し、職場体験が学校生活に前向きに取り組む姿勢を育てていることがわかります。

2年生には、進級してぜひ自分の進路実現にむけて一生懸命取り組んでほしいと思います。



(事前)



(事後)

ものづくり教育・学習フォーラム

～展示作品出品者・技能コンテスト出場者をご紹介します。～

ものづくり教育・学習フォーラムは、1月14日(土)に体験コーナーとものづくり協議会が、六郷工科高校を会場に、ものづくり作品展と舞台発表・体験コーナーが行われます。本校からも展示に「幼児の絵本」の作品を出品いたしました。今回、出品予定の生徒のみなさんは次の通りです。素晴らしい作品をありがとうございます。

3年
3年
3年



また、当日技能コンテスト競技会ソーイング部門で、出場する生徒のみなさんは次の通りです。がんばってください！

2年
2年
2年